

令和7年3月 総務財政委員会報告資料

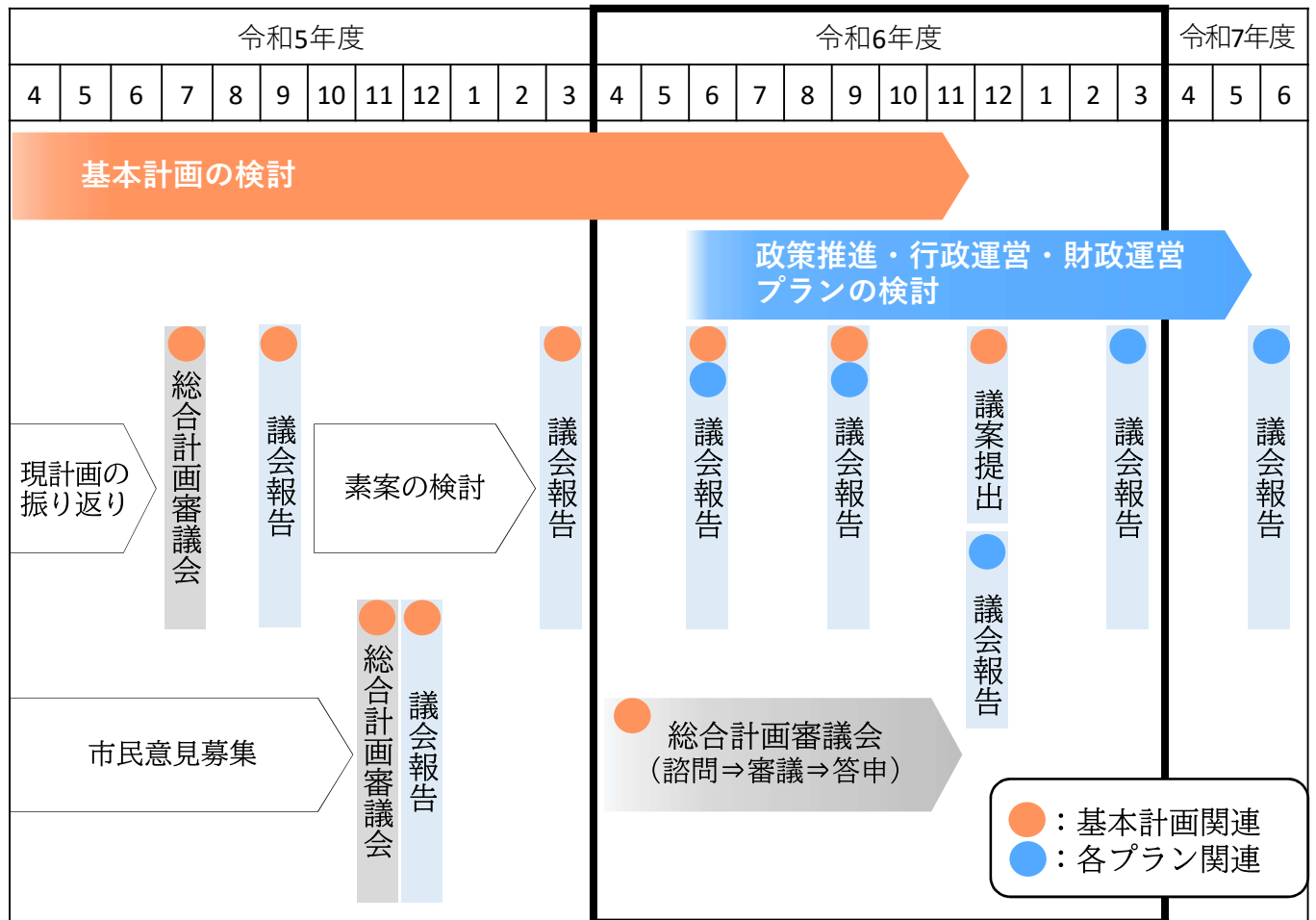
目次

- 1 政策推進プラン(原案)について 1頁
【別添資料1】 政策推進プラン 原案
- 2 行政運営プラン(原案)について 7頁
【別添資料2】 行政運営プラン 原案

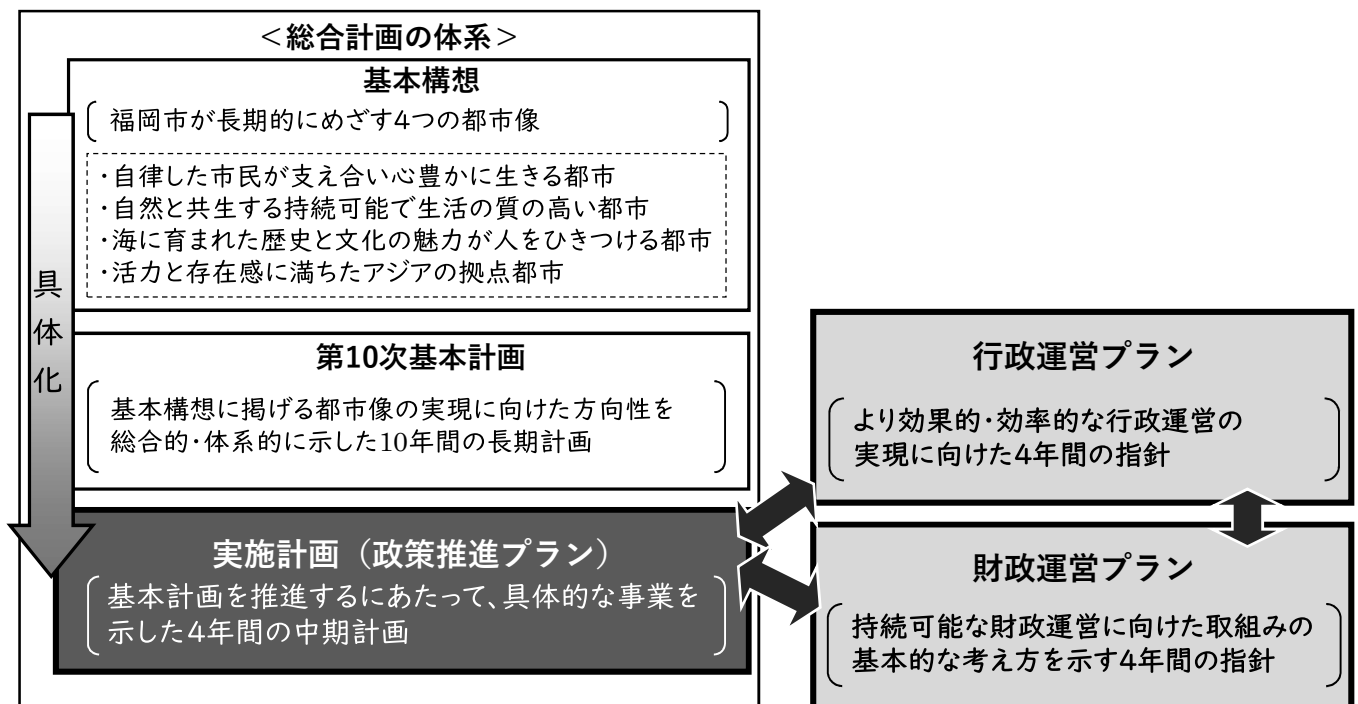
総務企画局

1 政策推進プラン(原案)について

(1) 全体スケジュール



(2) プランの位置づけ



※福岡市では、総合計画に基づく各施策の推進により、SDGsの実現に取り組んでいます。
 ※基本構想や基本計画の方向性に沿って、具体的な事業を示す「実施計画(政策推進プラン)」を、まち・ひと・しごと創生法における地方版総合戦略と位置づけます。

(3) 概要

- ・第10次基本計画を推進するため、中期的に取り組むべき具体的な事業を示すもの。
- ・「行政運営プラン」及び「財政運営プラン」と一体的に推進することで、財源を確保し、選択と集中による重点化を図りながら、必要な施策事業を推進する。

(4) 計画期間

2025年度(令和7年度)から2028年度(令和10年度)までの4年間

(5) 事業区分

- ・政策的な優先度に基づき「重点事業」「主要事業」「一般事業」に区分するとともに、地域の特性や独自の課題等に応じて区が取り組む主な事業を「区事業」として位置づける。
- ・「重点事業」については、優先的に資源配分を行うなど、事業区分を踏まえ、効果的・効率的に事業を推進する。
- ・プランには、重点事業、主要事業、区事業を掲載する。

区分		説明	プランへの掲載
全市 共通	重点事業	基本計画の目標を達成するために大きな効果・影響があり、政策的な優先度が高い事業で、優先的に資源配分を行い、重点的に取り組むもの	事業名と概要
	主要事業	基本計画の目標達成のために取り組む主要な事業	事業名
	一般事業	上記以外の事業	—
区独自	区事業	地域特性や独自の課題等に応じて、区が取り組む主な事業	事業名と概要

(6) 重点事業選定、重点化の考え方

重点事業については、基本計画のまちづくりの目標、福岡市の現状と課題、社会経済情勢を踏まえ、以下の重点化の考え方から、財政見通しとの整合を図った上で選定する。

- 特に力を注ぐべき重要性の高い施策分野である「重点分野」
- いち早く取り組むべき緊急性の高い課題への対応

<重点分野(重要性の高い施策分野)>

① 誰もが自分らしく生きられる共生・共創の地域づくり

- ・誰もが自分らしく生きられる共生のまちづくり
- ・住み慣れた地域で誰もが安心して暮らし続けられる持続可能な地域づくり
- ・人生100年時代を見据えた、生涯現役社会の実現

② 次代を担う子どもの育成と若者の活躍推進

- ・社会全体で子どもや子育て家庭を見守り、すべての子どもが健やかに成長できる環境づくり
- ・子どもや若者が自己実現に向けてチャレンジできるまちづくり

③ 地域経済に活力を生む観光・MICEの推進と都心部機能の充実強化

- ・付加価値の高い観光誘客やMICE誘致の推進など、持続可能な観光・MICEの振興
- ・都心部における高付加価値なビジネスの集積と都市空間の魅力向上
- ・公共交通を主軸とし、多様な交通手段が相互に連携した持続可能な総合交通体系の構築

④ スタートアップ等による新しい価値の創造

- ・先進的なテクノロジーによる、脱炭素社会の実現をはじめとした社会課題の解決や地場企業のチャレンジ支援
- ・地場企業やスタートアップの海外展開支援と、グローバル人材やその家族にも住みやすいまちづくりの推進

(7) 事業構築の視点

今後4年間の施策・事業を構築し、推進する上での基本的な姿勢・考え方を掲げるもの。

- 視点1:「捉える」 価値観や社会経済情勢の変化を適切に把握し、市民ニーズに応える
 視点2:「繋げる」 多様な主体と連携し、相互につながり支え合う
 視点3:「活かす」 社会資本や自然・歴史・文化など、福岡の資源や魅力を磨き上げ、最大限に活かす
 視点4:「挑む」 変化等に柔軟に対応し、新たな発想と手法で挑戦する

(8) 進行管理(指標の設定等)

- ・基本計画の分野別目標に定める「めざす姿」や「市民意識」を踏まえ、施策及び事業に指標(客観的なデータ等)を設定する。
- ・基本計画に定める「市民意識」の推移を把握するとともに、各事業の進捗状況の定性的・定量的な評価に加え、施策の評価を実施する。
- ・評価結果を福岡市総合計画審議会や議会へ報告・公表するとともに、市政取組方針や予算編成に反映させ、資源配分の適正化を図る。

(9) 重点事業(分野別目標ごと)

★:新規事業、☆:拡充事業

施策	事業名	局	頁
目標1	一人ひとりが心豊かに暮らし、自分らしく輝いている		
1-1	ユニバーサル都市・福岡の推進	総企	16
	人権教育・啓発	市民、福祉、教委	16
	性的マイノリティへの支援	市民	16
	☆バリアフリーのまちづくり	福祉、住都、道下、交通	17
	☆インクルーシブな子ども広場の整備・運営	住都	17
	★障がい者スポーツセンターの機能強化	福祉	17
	女性活躍の推進	市民	17
	☆外国人の生活環境づくり	総企、教委	18
1-2	☆ライフステージに応じた健康づくり	保健、福祉、道下	19
	働く人のWell-beingの向上	総企	19
	高齢者の社会参加支援	福祉	20
	アートイベントの開催	経済	20
	☆誰もが身近に文化芸術を楽しめるまちづくり	経済	20
	文化芸術活動者が活躍できるまちづくり	経済	20
	☆美術館・アジア美術館・博物館の魅力向上	経済	20
	今宿野外活動センターリニューアル	市民	21
ボートレース福岡パーク化	経済	21	
1-3	☆ユマニチュードあふれるまちづくり	福祉	22
	☆認知症の人にもやさしいまちづくり	福祉	22
	成年後見制度の利用促進	福祉	22
	☆福祉人材確保・外国人介護人材受入支援	福祉	22
	介護事業所の経営力強化等支援	福祉	23
	☆地域生活及び社会参加の支援	福祉	23
	☆重度障がい者、強度行動障がい者への支援	福祉	23

施策	事業名	局	頁
目標2 すべての子ども・若者が夢を描きながら健やかに成長している			
2-1	★子どもの権利の尊重・意見表明の支援	こ未	26
	★社会全体で子育てを応援する環境づくり	こ未	26
	☆プレコンセプションケアの推進	こ未	26
	☆産前・産後の支援	こ未	27
	相談支援体制や情報提供の充実	こ未	27
	☆経済的負担の軽減	こ未、保健、教委	27
	保育人材の確保	こ未	27
	多様な保育ニーズへの対応	こ未	28
	☆障がい児の支援	こ未	28
	子どもの遊び場づくり	こ未、教委	28
	放課後児童クラブ	教委	28
2-2	心のケア・相談体制の充実強化	こ未、教委	29
	ヤングケアラー相談支援	こ未	29
	困難な状況にある若者の相談支援	こ未	29
	児童虐待の未然防止・早期対応	こ未	30
	☆子どもの貧困対策の推進	こ未、福祉	30
	☆社会的養護体制の充実(里親支援)	こ未	30
	いじめの未然防止・早期対応	教委	30
	☆不登校児童生徒への支援	教委	30
2-3	☆子どもを主体とした学びの推進	教委	31
	外国語教育の推進	教委	31
	☆民間プール等の活用による水泳授業の充実	教委	31
	☆特別支援教育の推進	教委	31
	☆教員が子どもと向き合う環境づくり	教委	32
	★学校体育館の空調整備	教委、市民	32
	学校施設のアセットマネジメント	教委	32
	学校規模の適正化	教委	32
2-4	☆多様な職業体験機会等の創出 (起業、建設業、技能職等)	総企、経済、道下、教委	33
	☆魅力ある高校づくりの推進	教委	33
目標3 地域の人々がつながり、支え合い、安全・安心に暮らしている			
3-1	☆共創の地域づくり	市民	36
	☆地域ポイント事業	総企	36
3-2	☆公民館の機能強化	市民	37
	南区における地域交流センター整備の検討	市民	37
	区庁舎及び市民センター等のアセットマネジメント	市民	37
	★広域拠点等におけるまちづくりの推進	住都、市民	37
	☆持続可能な生活交通の確保	住都	38
	☆買い物支援の推進	福祉	38
3-3	安全で快適な道路環境づくり	道下、住都	39
	安全で良質な水道水の安定供給と節水型都市づくり	水道、道下	39
	居住支援の推進	住都	39
	住宅の適切な管理・更新	住都	40
	市営住宅におけるユニバーサルデザインの推進	住都	40

施策	事業名	局	頁
3-3	☆防災・危機管理体制の強化	市民、保健	40
	☆地域防災力の向上	市民、消防	40
	☆避難環境の充実	市民、こ未、福祉	41
	災害に強い道づくり	道下	41
	総合治水対策の推進	道下	41
	☆上下水道施設・民間建築物の耐震化等の推進	住都、道下、水道	42
3-4	地域福祉活動の支援	福祉	43
	☆相談支援体制の充実	福祉	43
	地域防犯力の強化	市民	43
	飲酒運転の撲滅	市民	44
	☆モラル・マナーの啓発	市民	44
	☆消防・救急体制の充実	消防	44
	感染症対策の推進	保健	44
	市民病院のあり方検討	保健	44
目標4	人と自然が共生し、身近に潤いと安らぎが感じられる		
4-1	生物多様性の確保	環境	48
	☆豊かな森づくりの推進	農水	48
	☆市街化調整区域の活性化	総企、経済、農水、住都、道下	48
	☆離島の振興(玄界島・小呂島)	総企	48
4-2	一人一花運動	住都	49
	★Fukuoka Flower Showの開催	住都	49
	☆都心の森1万本プロジェクト	住都	49
	☆公園の整備・活用の推進	住都	49
	☆Park-PFI事業等による魅力あふれる公園づくり	住都	50
	動植物園の魅力向上	住都	50
4-3	☆脱炭素型行動変容に向けた広報啓発	環境	51
	☆市民・事業者の省エネ対策・再エネ利用推進	環境	51
	★次世代型太陽電池の普及促進	環境	51
	自動車部門の脱炭素化	環境	51
4-4	☆循環経済への移行促進	環境	52
	☆プラスチックごみ対策	環境	52
	古紙再資源化の推進	環境	52
	食品廃棄物対策	環境	52
目標5	磨かれた魅力に人々が集い、活力に満ちている		
5-1	☆海辺を生かした観光振興	経済、道下	55
	食のユニバーサル対応の推進	経済	55
	高付加価値な観光誘客	経済	55
	☆広域周遊観光の推進	経済	55
	福岡型ワーケーションの推進	経済	56
	クルーズ客船誘致・受入体制の充実	港空、経済	56
	☆市民生活と調和した観光振興	経済	56
5-2	☆歴史資源を活用した博多部の魅力向上	経済、道下	57
	☆福岡城・鴻臚館エリアの魅力向上	経済	57
	セントラルパーク構想推進	住都	57
5-3	MICE拠点の形成	経済、住都	58
	MICE誘致の推進	経済	58

施策	事業名	局	頁
5-4	クリエイティブ体験イベントの開催	経済	59
	★映像作品を通じた誘客促進	経済	59
目標6	都市機能が充実し、多くの人や企業から選ばれている		
6-1	☆都心部のまちづくりの推進	住都	61
	ウォーターフロント再整備の推進	住都、経済、港空	61
	☆快適で高質な都心回遊空間の創出	住都、道下	61
	リバーフロントエリアの魅力づくり	住都、経済、道下	62
	官民共働による都心の魅力向上	総企、道下	62
6-2	九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくり	住都、教委	63
	アイランドシティのまちづくり	港空	63
	シーサイドももちのまちづくり	経済	63
	九州大学伊都キャンパス及びその周辺のまちづくり	経済、住都、道下	64
6-3	☆総合交通体系づくり	住都、道下	65
	自動車専用道路の整備	道下	65
6-4	企業立地・産業集積の促進	経済	66
	国際金融機能の誘致	経済	66
目標7	チャレンジ精神と新たな価値の創造により、地域経済が活性化している		
7-1	中小企業の経営基盤の強化	経済	69
	☆中小企業の人手不足対策	経済	69
	☆脱炭素経営・ビジネスの促進	経済	69
	商店街の活性化に向けた支援	経済	70
	伝統工芸品の販路拡大と技能承継	経済	70
7-2	☆農業の振興	農水	71
	水産業の振興	農水	71
	☆農水産物の消費拡大・ブランド化推進	農水	72
	市場の活性化	農水	72
7-3	☆創業環境の充実	経済	73
	社会課題解決に向けた民間提案支援	経済	73
	ソーシャルスタートアップの成長支援	経済	73
7-4	九州大学周辺における研究開発拠点の形成	経済	74
	★九州大学における研究成果の事業化支援	経済	74
	☆エンジニアの集積・交流の促進	経済	74
	水素の利活用の推進	経済	75
	クリエイティブ関連産業の振興	経済	75
	☆アーティストの成長支援の充実	経済	75
目標8	アジアのモデル都市として世界とつながり、国際的な存在感がある		
8-1	☆博多港の物流・人流機能の強化	港空、住都	77
	博多港におけるカーボンニュートラルポートの形成	港空	77
8-2	☆地場企業の海外展開支援	経済	78
	☆グローバルスタートアップの推進	経済	78
	インターナショナルスクールへの支援	総企	78
8-3	福岡市の強みを生かした国際貢献・国際協力	環境、道下、水道	79